

平成28年度事業計画書

1. 基本方針

本協会を取り巻く環境は、近年の夏季の高水温や長期的な水温上昇傾向などの自然環境の変化や放流時期の遅れ、種苗放流量の減少、電気料金の値上げによる経費の増、金利低下に伴う資産運用益の減少など経営環境は厳しい状況にある。

また、平成24年度に策定（平成33年度を目標年度とした10ヶ年計画）した経営改善中期計画の早期達成など財務体質の改善を図ることが求められている。

こうした中、当協会においては、栽培漁業の一層の推進を図るため「第7次山形県栽培漁業基本計画」に基づき、つくり育てる漁業の中核施設として、水産関係行政機関・団体と連携を図りながら、栽培漁業を計画的かつ効率的に展開し、県内水産業の振興に寄与するとともに、業務執行については業務や経費の見直しを行い効率的な協会運営に努め経営改善を図っていくものとする。

(1) 種苗生産及び供給事業

山形県との業務委託契約に基づき、栽培漁業センターではアワビ、ヒラメ、クロダイ、アユ、トラフグ、モクズガニの6魚種、サクラマス古寺ふ化場ではサクラマスの種苗生産を計画的かつ効率的に実施するとともに、遺伝的多様性を考慮し放流効果の高い種苗生産を県水産関係機関と連携を図りながら実施する。

内水面水産センターでは、県内需要を中心としたイワナ、ヤマメ、ニジマスの増養殖用種苗の生産と供給を実施する。

なお、栽培漁業センターでは、経営基盤の安定を図るため、アユ、アワビの放流用種苗、養殖アワビやクロソイ種苗の生産販売を実施する。

(2) 調査・研究事業

魚類は、初期に与える生物餌料のワムシの質が種苗の品質を左右することから、餌料価値が高くかつ効率的な大型のL型ワムシの安定培養技術の向上に取り組む。

貝類においては、初期の生残、成長を左右する小型で餌料価値が高い付着珪藻の培養技術の向上に引続き取り組む。

トラフグの安定した種苗生産に欠かせない採卵用親魚確保のため、トラフグの短期親魚養成技術や短期精子保存技術の開発を継続する。

ヒラメの放流効果を把握するため、市場調査を実施するほか、ヒラメの健全な受精卵の供給体制を構築する広域種資源造成型栽培漁業推進事業（補助事業）を実施する。

(3) 飼育管理技術の支援

中間育成用として供給した種苗について、その後の適切な飼育管理が求められており、疾病の未然防止や飼育管理技術について中間育成場等に対して支援するほか、種苗生産技術の習得のための研修生の受入れを行う。

(4) 普及啓発活動の実施

平成28年度開催の「全国豊かな海づくり大会」を契機に、栽培漁業や内水面漁業など本協会の役割を紹介するため、各種イベント等に参画、一般見学者の受け入れを行う。また、本協会の役割や事業内容等をホームページに掲載し情報発信に努める。

2、事業計画

(1) 受託事業

(ア) 平成28年度山形県栽培漁業センター管理運営業務

委 託 者 山形県庄内総合支庁産業経済部水産振興課長
委 託 料 124,361千円
契 約 年 月 日 平成28年4月1日
内 容 栽培漁業センターの管理運営、水産種苗生產業務及び水産種苗供給業務。

(イ) 平成28年度栽培漁業モニタリング調査

委 託 者 山形県庄内総合支庁産業経済部水産振興課長
委 託 料 66千円
契 約 年 月 日 平成28年4月1日
内 容 ヒラメ栽培漁業モニタリング調査業務のうち市場調査。

(ウ) 平成28年度山形県サクラマス古寺ふ化場管理運営業務

委 託 者 山形県知事 吉村 美栄子
委 託 料 17,674千円
契 約 年 月 日 平成28年4月1日
内 容 サクラマス古寺ふ化場の施設管理、水産種苗生産・供給業務及びそ上系稚魚の放流を目指し、親魚確保、種苗の生産及び防疫対策に関する業務。

(2) 種苗生産・供給事業

[山形県栽培漁業センター]

(ア) 種苗生産・供給事業

平成28年度山形県栽培漁業センター業務委託契約に基づき、下記のとおり水産動物を生産し供給する。

魚 種	大きさ (供給時)	生産時期	供給時期	供給数量	備 考
アワビ	殻長25mm以上	4～10月	4～10月	250千個	直接放流用
	殻長10mm以上	5～12月	12月	2千個	教育実習用
	上記供給用稚貝以外に平成28年度供給用として殻長5mm以上30万個を飼育する。				
ヒラメ	平均全長40mm	5～7月	7月	150.5千尾	中間育成用、教育実習用
	平均全長80mm	5～8月	8月	6千尾	放 流 用
ア ヌ	平均全長80mm	4～6月	5月、6月	2,040 k g	放 流 用
	平均全長55mm	9～3月	2月、3月	1,700千尾	中間育成用
	上記以外に平成28年度5月、6月に直接放流用として平均全長55mmの稚魚40万尾を飼育する。				
クロダイ	平均全長50mm	5～9月	8月、9月	18.6千尾	放流用、教育実習用
モクズガニ	平均甲幅7mm	5～10月	9月、10月	16千尾	放 流 用
トラフグ	体長40mm	5～9月	9月	21千尾	放 流 用

(イ) 水産生産物売払事業

平成28年度山形県栽培漁業センターにおいて、自主事業として次の水産動物を生産し供給する。

魚 種	大きさ (供給時)	生産時期	供給時期	供給数量	備 考
ア ヌ	全長80mm以上	4～7月	5～7月	1,000 k g	放流用
	全長55mm以上	10～3月	2～3月	600千尾	中間育成用
	体重1g	10～3月	2～3月	250千尾	中間育成用
	全長10～15cm	5～9月	6～9月	5千尾	食材用
ヒラメ	全長80mm	5～8月	8月	8千尾	放流用
庄内アワビ	殻長70mm	4～3月	4～3月	9千個	食材用
クロソイ	全長30mm	4～7月	7月	150千尾	生産用

[山形県サクラマス古寺ふ化場]

平成28年度山形県サクラマス古寺ふ化場業務委託契約に基づき、次のとおり稚魚、スモルト幼魚を生産し供給する。

(ア) 種苗生産・供給事業

次の魚種の生産、供給を行う。

魚 種	種 別 (魚体重)	生産時期	供給時期	供給数量	備 考
サクラマス	稚魚 (2.5g以上)	4～7月	6～7月	561,100尾	放流用
	スモルト幼魚 (20g以上)	4～10月	10月	30,000尾	放流用

[内水面水産センター]

平成28年度内水面水産センターの事業計画を次のとおりとする。

(ア) 水産生産物売払事業

魚 種	種 別	生産時期	供給時期	供給数量	備 考
ニジマス	稚 魚	4～7月	4～7月	330千尾	養殖業者用及び放流用
	成 魚	4～8月	4～8月	900kg	河川放流用
ヤマメ (サクラマス)	発眼卵	10～12月	10～12月	100千粒	河川埋没放流用等
	稚 魚	4～8月	4～8月	50千尾	放 流 用
	幼 魚	4～10月	4～10月	13千尾	放 流 用
	成 魚	4～10月	4～10月	1,000kg	放流、イベント用
イワナ	稚 魚	4～8月	4～8月	140千尾	放 流 用
	幼 魚	4～10月	4～10月	12千尾	放 流 用
	成 魚	4～10月	4～10月	1,000kg	放 流 用